

有田市地域公共交通会議 (和歌山県有田市)

事業名:平成25年度地域内フィーダー系統

概要



運行主体:有田市地域公共交通会議
運行事業者:中紀バス株式会社

基礎データ

人口:30,953人 (平成25年3月1日現在)

面積:36.92平方キロメートル

過疎地域等指定:半島振興法の適用

高齢化率:28.3%

系統数:8系統(全系統国庫補助対象)

運行回数:1日1回運行 (1往復で1回)

自治体等負担額:H22 5,163千円、H23 465千円、H24 465千円

協議会等開催状況:H24年5月 第1回有田市地域公共交通会議開催

目的、計画、目標(Plan)

有田市においても交通弱者といわれる高齢者数が増加傾向にあり、市民生活の中で買い物や通院などの交通手段として、利便性に富み、かつ低運賃で乗車できるバスの運行が、必要不可欠なものになっている。

できるだけ交通空白地域の解消を図ると共に安定してサービスを提供し続ける事ができる採算性が高い交通システムを再構築することにより、高齢者による交通事故をなくすためマイカー無しでも快適に暮らせる地域づくりを目的とする。

- ◆公共交通空白地域 0地区
- ◆年間輸送人員 30,000人
- ◆収支率 35%
- ◆住民のバス利便性等に対する満足度 60%

ネットワーク計画等の取組み(Do)

前年度と同様有田市全域において、一部デマンド方式のバス運行を実施した。Aコースは13人乗り車両を使用し、Bコースは立席も含めて29人乗りマイクロバスを使用した。

また、利用促進事業として市広報誌でのデマンドバスの利用促進を行うと共に、前年度と同様に時刻表を作成し、配付した。

実施状況、目標の達成(Check)

平成24年4月1日から平成25年3月31日の1年間で295日運行した。

その結果、公共交通空白地域の解消を解消し、安定してサービスを提供するという目標は達成できた。

しかし、利用人員については目標の年間輸送人員には大きく及ばなかった。原因としては、バス停や路線の周知不足や、市内を循環するように運行しているため、利用者によっては目的地までの所要時間が長すぎる事が考えられる。

今後の課題、対応(Action)

路線やバス停等の広報をより一層行うと共に、今まで寄せられた要望等に応じて、より利用頻度が高くなるよう、バス停の新設・変更や細かい路線等の見直しを検討していく。

※枠が足りない場合は次頁に作成可、必要に応じて参考資料を添付願います。